

アフタフレナイの会

会長 神馬久夫さん 会員25人



アフタフレナイの会は、「入江・高砂貝塚」の保護・活用やその背景にある縄文の精神を、町内外の人に伝えようと活動を行っているサークルです。同会の結成のきっかけは、会員の一人が、平成14年8月、新潟県で開催された第5回縄文サミット（縄文都市連絡協議会主

催）に参加して、多くの人と交流を重ねる中で、市民サークルの必要性を痛感。翌年の平成15年に、恵庭市の「カリンバの会」の指導を受けて、5人で発足し、昨年結成10周年を迎えました。会の主な活動は、①遺跡見学会活動②縄文講演会活動③文化活動④広報活動の4つを柱にしています。昨年の活動を振り返ると、遺跡見学は、森町の鷺ノ木遺跡と函館市茅部地区にある垣ノ島遺跡を見学。講演会活動については、北の縄文セミナー講演会（室蘭市）、世界遺産登録推進フォーラム（室蘭市）、大島直行出版記念講演会（伊達市）に参加しました。とうや湖縄文まつりや縄文ロビー講座などにも協力し、縄文まつりでの縄文鍋は、毎回好評を博しています。そのほか、伊達市噴火湾考古学研究会を始め、多くの道内の縄文研究サークルと交流を行い、縄文文化の研究と普及に努めています。興味関心のある方は、会長の神馬さん（876-4375）へ連絡ください。

東奔西走

今月号の取材の過程で、「はるさめ」「経木で包んだ納豆」など他にはない特色ある地場産品が町内に多くあることを知りました。これからも、町民も知らない洞爺湖町の魅力を様々な形で紹介していきたいと思います。洞爺湖周辺にもやっと春の訪れを感じる季節となりました。各施設もオープンになりましたので、洞爺湖町の魅力を探しに、町内を探訪してみたいかがでしょうか。（H.O）

今月のワンショット



洞爺湖桜杯ーいっしょうけんめいボールを追う児童達

人口と世帯の動き 3月31日現在（先月比）

男	4,451人(△ 50)
女	5,179人(△ 61)
計	9,630人(△111)
世帯	5,094世帯(△ 36)